



# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2024年4月10日

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

株式会社ゼロボード  
代表取締役 渡慶次 道隆

## 1. 脱炭素をはじめとする企業のサステナビリティ経営を実現するための事業活動を実施します

- 企業活動に伴う温室効果ガス (GHG) 排出量 (Scope 1+2) を、2025年までに実質ゼロとすることを目指します。
- 自社の排出量 (Scope 1+2) に加えて、Scope 3を含めたサプライチェーン全体で温室効果ガス排出量を把握し、削減に取り組みます。また、自社の温室効果ガス排出量削減の結果について、当社ウェブサイトに掲載し、積極的に社外に公表します。
- 脱炭素社会の実現に向けて、サプライチェーンまで含めたGHG排出量の算定・可視化・開示を効率的に実現するソフトウェア「Zeroboard」を提供します。加えてサステナビリティ経営に取り組む企業に対してGHG排出量の算定支援や、TCFD・CDP等の各種アジェンダへの対応、また削減計画の立案と実行支援等の包括的なコンサルティングサービスを提供します。
- さらに、脱炭素だけでなく、生物多様性、資源循環、人的資本、ガバナンス等のESG全般に及ぶアジェンダについても、ソフトウェア「Zeroboard Sustainability Platform」と専門知見を備えたコンサルティングサービスにより、サステナビリティ経営の高度化をサポートします。
- 企業・銀行・自治体等の脱炭素に関連するステークホルダーを繋ぎ、GHG排出量データを軸とした脱炭素実施基盤 (エコシステム) を構築します。具体例には脱炭素ソリューション (太陽光・EV・エネルギー転換等) を持つ企業と提携し、「Zeroboard」でGHG排出量を算定した上での最適な削減ソリューションを提供します。
- 脱炭素社会の実現に向けた当社の事業内容や企業理念「気候変動を社会の可能性に変える」に共感する投資家より資金調達を行います。

## 2. 脱炭素達成に向けた取り組みの「輪」を広げていきます

- 「Zeroboard」のユーザーコミュニティ「All Aboard!」を運営し、多種多様な企業が、企業の枠を超えて情報を共有し合い、同じ課題を抱える仲間と共に考え、具体的な解決策を見つけられる場を提供します。
- サステナビリティに関連したセミナーやコラムなどを通じて、知識の共有と情報発信を行い、企業や自治体の知識と理解度の向上に努めます。
- サステナビリティに関して業界を代表するスピーカーを招いたカンファレンスを開催し、脱炭素経営に関わる全ての人が横に繋がり、学び、ともに成長する場を提供します。
- 日本国内だけでなく、ASEAN各国やその他国外地域に「Zeroboard」を提供し、日本だけではなく世界各国の企業のサステナビリティ経営をサポートします。

## 3. 従業員の環境に対する知識理解の向上、行動支援に取り組みます

- 社員教育の一環として、気候変動に関連する基礎知識からサステナビリティ経営に関する知識まで、従業員に幅広い知識を提供し、行動をサポートします。

## 4. 各種コンソーシアムやイニシアティブに積極的に参加をします

- サステナビリティ推進のための国内外の様々なコンソーシアムやイニシアティブに積極的に参加し、弊社の知見や経験を共有し、脱炭素社会の実現に貢献します。
- 2030年度を目標に、自社の企業活動に対するカーボン・オフセットを行い、認証ラベルを取得し、それらの取り組みについて情報発信をしていきます。

株式会社ゼロボードは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果をウェブサイトなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

